

# 小坪小だより

6月号 No. 395

横浜市立小坪小学校 校長 高田 桂太郎  
横浜市港南区港南台4-11-1 電話832-0617

★★

## 再スタート

校長 高田 桂太郎

6月に入り、夏日を記録する暑い日も見られるようになりました。緊急事態宣言に伴う臨時休校も約3か月間にわたり、ようやく学校も再開となります。保護者、地域の皆様には、子ども達への新型コロナウイルス感染拡大予防、学習や運動、また公園での過ごし方など多くのご配慮をいただき、誠に感謝申し上げます。学校も子ども達の健康と安全を確保しながら学習活動を進めてまいります。引き続きご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

さて、学校が再スタートしますが、ご存じの通り学校は大勢の子どもたちが集まるという特別な場所です。スタートするにあたって、職員全員で、安全に学習活動を進めるために、どのような手立てができるか何度も話し合いました。横浜市立の小学校では、最初の2週間、分散登校をすることとなりましたので、本校でもクラスを2チームに分け、一日おきに登校することにしました。校内ではソーシャルディスタンスを考えて、教室の座席配置、水飲み場やトイレに並ぶ時等の立ち位置表示をしました。その他に、低学年、中学年、高学年で校庭を使える休み時間をずらしたり、下校時に昇降口が混んでいた場合に待機する場所を設定したりしています。今、考えられる最善の方法を行って15日からの全員登校に向けて、さらに改善できるところは改善して子ども達が健康で安全に学校生活を送ることができる環境を整えてまいります。

子ども達には、感染症拡大防止と同時に、心のケアも大切になってきます。大人には分からないところで、子ども達は不安を抱えていることがあります。そのような子ども達の気持ちを受け止められるように、子ども達の心のケアについて職員研修を行いました。子どもが安心できる声掛け。元気そうな子どもがふと見せるサイン。クラスみんなの心を繋ぐ活動など、子ども達が安心して元気に学校生活を送ることができるよう準備していきます。もしご家庭でも、何か気になることがあれば学校までお知らせください。

先日、校庭開放があり、子ども達の元気な声が校庭に響いていました。職員の耳にも届き、いつのまにかみんなに笑顔があふれていました。子ども達の元気な声は、こんなにも幸せを運んで来るのかと、その力を実感しました。

子ども達の笑顔を守り、学校に元気を再び取り戻せるよう職員みんなで力を合わせ、子ども達を支え、応援してまいります。

保護者、地域の皆様におかれましても登下校の見守り等、お力添えをよろしく願いいたします。

